

COP27におけるサイドイベントの開催等について

**(国研) 森林研究・整備機構
森林総合研究所
平田泰雅**

本日の話題

- **公式サイドイベント開催** (ICRAF, 森林総研)
アジア・アフリカ における適応と国が決定する貢献
(NDC)
 - **ジャパン・パビリオン サイドイベント開催**
(森林総研、ITTO)
気候変動の緩和と適応双方の推進に向けた森林分野のNature-based Solution (NbS)
 - **その他のサイドイベント話題提供**
協調的アプローチとしてのREDD+の可能性と能力強化の必要性 (韓国山林庁、ITTO, 創価学会インターナショナル)
- 気候変動緩和のための熱帯林火災予防：モニタリングと現場での実施 (ボゴール農科大学、ITTO)



アジア・アフリカ における適応と国が決定する貢献（NDC） ～森林・アグロフォレストリー分野での進捗～

- イベント名（英語）
Adaptation and NDCs in Africa and Asia: How much progress in the agroforestry and forestry sectors?
- 主催 ICRAF、森林総合研究所
- イベント開催日 2022年11月11日（金） 22:00～23:30（日本時間）
- 参加者数 来場者 40名程度 YouTube視聴 263名
- イベントの概要
 - ✓ サハラ以南のアフリカとアジアにおけるNDCへの適応行動の統合の進捗状況について議論
 - ✓ 特に、アグロフォレストリーと森林の適応実践のためのターゲットと統合、進捗状況、投資、能力開発を強化するためのオプションに焦点



アジア・アフリカ における適応と国が決定する貢献（NDC） ～森林・アグロフォレストリー分野での進捗～

- 基調講演 Dr Ravi Prabhu Director General ad interim, ICRAF (Moderator)
- プレゼンテーション:
 1. Dr. Peter Minang (ICRAF) : アフリカにおけるアグロフォレストリーと適応の概要
 2. 岡本隆(森林総研) : ベトナム山岳地域における住民の災害に対する意識
 3. Dr. Malanding Jaiteh (Gov of the Gambia) : ガンビアから生態系ベースの適応の経験
 4. Mr. Roderick de Castro (The Center for Conservation Innovation Ph Inc.) : 山地流域における気候変動に対するコミュニティの強靱化
 5. Amath Pathe Sene (IFAD): アフリカにおける自然ベースの解決を基礎とした適応に対する投資アプローチ

アジア・アフリカ における適応と国が決定する貢献（NDC） ～森林・アグロフォレストリー分野での進捗～

森林総研からの話題提供

「ベトナム山岳地域における住民の防災意識」

岡本隆 治山研究室長

発表のポイント

- ベトナムの山岳地帯の住民に対して、土地利用と土砂災害に関する聞き取り調査を行った。
- 住民は災害リスクを認識しながらも、生計を立てるために急峻な森林斜面を農地として利用せざるを得ない。
- リスクアセスメントや避難方法など、防災に関する知識や経験が乏しい。



気候変動の緩和と適応双方の推進に向けた森林分野の Nature-based Solution (NbS)

- イベント名 (英語)
Nature-based solutions in forest sector to promote mitigation and adaptation against climate change
- イベント開催日 2022年11月18日 (金) 22:00~23:30 (日本時間)
- 参加者数 来場者 20名程度 オンライン視聴 33名
- イベントの概要
 - ✓ 森林は、REDD+活動を通じて気候変動緩和に寄与するとともに、NbSとしての適切な森林保全を通じて将来の自然災害等に対する適応策にもなる
 - ✓ 森林の機能発揮を通じて緩和と適応の双方を推進する方策を探索する



気候変動の緩和と適応双方の推進に向けた森林分野の Nature-based Solution (NbS)

○開会挨拶

Ms. Sheam Satkuru, Executive Director, ITTO

○講演

浦口あや (コンサベーションインターナショナル・ジャパン) 「アジアにおける森林の保全と回復」

Dr. Hwan-ok Ma (ITTO森林経営部長代理) 「インドネシアにおける森林火災マネージメント～カリマンタン島とスマトラ島におけるITTOプロジェクトからの教訓～」

岡本隆 (森林総合研究所 治山研究室長) 「森林機能を活用した防災・減災技術のベトナムへの適用」

Dr. Jorge Recharte (ペルー山岳研究所 代表) 「ペルー山岳地域における土地利用計画」

○パネルディスカッション

モデレーター：平田泰雅 (森林総合研究所 研究ディレクター)

気候変動の緩和と適応双方の推進に向けた森林分野の Nature-based Solution (NbS)

森林総研からの話題提供

「ベトナム山岳地域における土地利用と土砂災害」

岡本隆 治山研究室長

発表のポイント

- 山間部のため、農地面積はわずか7%にとどまる
- 勾配が30度を超えるような急斜面も、森林を伐採して農地として利用
- 斜面では表面侵食が起こり、農地の生産性を低下させるだけでなく、土砂による河川汚染を引き起こす



 COP27
Forum of Forests
EGYPT 2022

COP27 Japan Pavilion Seminar
“Nature-based solutions in forest sector to promote mitigation and adaptation against climate change sectors?”

Issues Related to Land Use and Sediment Disaster Risk in Mountainous Areas of Vietnam

 **REDD+ plus and F-DRR**
Research and Development Center Japan

Dr. Takashi Okamoto
Forestry and Forest Products
Research Institute (FFPRI), Japan

Forestry and Forest Products Research Institute 

気候変動の緩和と適応双方の推進に向けた森林分野の Nature-based Solution (NbS)

• パネルディスカッションでの3つの質問

問1 気候変動の中で、今日お話した緩和策は適応策にどのように役立つのか？また、適応策は緩和策にどのように役立つのか？

問2 気候変動の影響が顕在化するにつれ、適応策にかかるコストも増加すると思われるが、自然を利用した解決策にどのように期待するか？

問3 REDD+の枠組みができたことで、今後、森林の減少・劣化を抑え、森林を保全していくための鍵は何か？



ジャパン・パビリオンで開催されたイベント

	11/8 (火)	11/9 (水)	11/10 (木)	11/11 (金)	11/12 (土)
日ごとのテーマ	World Leaders Summit	Finance Day	Science Day Youth & Future Generations	Decarbonization Day	Adaptation Day Agriculture Day
10:30～ 12:00	環境省 JCM実施の促進及び拡大	三菱UFJ 銀行 責任あるトランジション支援と信頼できるカーボンニュートラルへの道すじ	環境省 適応に関する世界目標(GGA)の達成に向けた民間セクターの役割： - 世界で気候レジリエントな経済社会の実現に貢献する日本の技術・サービス・経験 - JAMSTEC 衛星観測は、森林のモニタリングと管理をどのように向上させることができるか？	NIES アジア太平洋地域における最新の科学的知見に基づく国家適応計画の策定とその実施 - 適応に関する世界目標 (GGA) の達成に貢献する適応策の推進体制の構築に向けて	JICA 東南アジアにおけるパリ協定実施と民間セクター貢献
13:00～ 14:30	JAMSTEC 温室効果気体排出抑制とその影響：現状と将来展望	経産省 ASEANのエネルギー転換と脱炭素化のためのファイナンス動員	環境省 「日米豪印 気候変動適応・緩和パッケージ (Q-CHAMP)」に基づくHFCsのライフサイクルマネジメントに関するワークショップ	JICA グリーン水素エネルギーの開発	農水省 持続可能な農業および食料安全保障等に関する農林水産省の取組
15:00～ 16:30	岐阜大学 環境に配慮したカーボンニュートラルな造水及び排水処理システムを目指して	JICA パリ協定達成に向けたJICAの気候変動対策 コベネフィット型気候変動対策の観点から持続可能な開発とのシナジーとトレードオフの理解を深める	国連大学 パリ協定とSDGsのシナジー強化のためのアクション	RITE 産業の脱炭素化、国境炭素調整と気候クラブ	環境省 脱炭素でレジリエントなアジアに向けた日本の貢献
17:00～ 18:30	環境省 サステナブルファイナンス、トランジションファイナンスがアジアにおけるネットゼロへの道筋において果たす役割とは	JCLP 日本において企業は如何に脱炭素化を加速できるか	IGES 日本・マレーシアの都市間連携を中心としたカーボンニュートラル優良事例の紹介：ルックイーストポリシー40周年を記念して	経産省 オールジャパンで取り組む、熱帯林・熱帯泥炭地の持続可能な管理、及びモニタリング手法の国際ルール形成に向けた取り組み	NIES 新世代の温室効果ガス観測衛星によるパリ協定への貢献

11/8 19:00 - 20:30 **STSフォーラム** COP27 地域毎の気候変動適応策に関する特別シンポジウム

11/9 19:00 - 20:30 **東京大学** プラネタリ・バウンダリを重視した化学産業の2050年カーボンニュートラル実現とその新たな役割

ジャパン・パビリオンで開催されたイベント

	11/14 (月)	11/15 (火)	11/16 (水)	11/17 (木)	11/18 (金)
日ごとのテーマ	Gender Day Water Day	ACE & Civil Society Day Energy Day	Biodiversity Day	Possible Solutions Day	
10:30～ 12:00	IGES ASEAN・アジア太平洋におけるシナジーアクションで持続可能なカーボン・ニュートラル・プラネットへ	環境省 民間企業による気候行動の透明性強化とサプライチェーンへの取り組み～アジアにおけるコ・イノベーションのための透明性パートナーシップ (PaSTI) から～	経団連 GX (グリーントランスフォーメーション) に向けた挑戦	RITE 現代のネットゼロ社会に向けた低エネルギー需要と高いウェルビーイング	
13:00～ 14:30	日本経済新聞 決意から実行へ：脱炭素社会の実現に向けた日本企業の取り組み	東京大学 日本の2050年ネットゼロに向けたエネルギー転換戦略	環境省 6条実施パートナーシップ立ち上げイベント：質の高い炭素市場の構築に向けて	日豪印米各国政府 地方の気候行動に関する日米豪印ワークショップ	経産省 カーボンニュートラル社会の実現に向けたRD20の挑戦
15:00～ 16:30	JCI 今こそアクションの加速を：日本の非政府アクターが進むネット・ゼロへの道筋	経産省 危機の時代における、カーボンニュートラルへの取り組み	環境省 アフリカにおける廃棄物管理の低炭素化～グローバル・メタン・プレッジの文脈におけるACCPとエジプト“50 by 2050イニシアティブ”のシナジー～	環境省 ゼロカーボンシティ実現に向けた先行的取り組み UNIDO アフリカ脱炭素社会移行に向けた気候変動イノベーション及びパートナーシップの推進～官民連携パートナーシップの最大化のための協力的アプローチの推進	森林総研 緩和と適応双方の推進に向けた森林分野のNature-based Solution (NbS)
17:00～ 18:30	経産省 グローバルなGXの実現：削減貢献度の適切な評価を通じたネットゼロ社会の実現に向けて	経産省 緩和と適応に貢献する日本企業の先進的な技術	環境省 第8回JCMパートナー国会合	環境省 サーキュラーエコノミーとカーボンニュートラル～民間企業による循環行動とドライバーの加速～	日本自動車工業会 カーボンニュートラルに向けた道路交通セクターの排出削減パスについて～IPCC第6次評価報告書における考え方～

協調的アプローチとしてのREDD+の可能性と能力強化の必要性

- イベント名（英語）

The Potential of REDD+ as a Cooperative Approach and the Need for Capacity Building

- 主催 韓国山林庁、ITTO、創価学会インターナショナル

- イベント開催日 2022年11月15日（火） 18:30～20:00（エジプト時間）

- イベントの概要

- ✓ REDD+の積極的な推進におけるパリ協定第6条とパリ規則集の役割についての理解を深め、REDD+協力的アプローチの課題と機会について議論する
- ✓ REDD+のための資金調達を増やすために、REDD+のための協力的な活動において、パートナー国の国別・地域別のREDD+活動や戦略のための能力強化の必要性を可視化し理解すること

協調的アプローチとしてのREDD+の可能性と能力強化の必要性

Cooperative Approaches of REDD+ under Article 6 of the Paris Agreement	A REDD+ negotiator
Japan's Joint Crediting Mechanism (JCM)- REDD+ <ul style="list-style-type: none">• Lessons from the implementation of JCM-REDD+• The potential of JCM-REDD+ under Article 6.2 of PA	Dr. Hirata, REDD+ Centre, Japan
Empowering women in REDD+ activities in West Africa <ul style="list-style-type: none">• How does women improve restoration and community forest management in West Africa?	Ms. Cecile NDJEBET, REFACOF, Cameroon
GHG emissions from forest fires in Indonesia <ul style="list-style-type: none">• Assurance in achieving Indonesia's FLOU Net Sink 2030• Forest fires in REDD+ framework	Prof. Bambang, IPB, Indonesia
UN-REDD programme for capacity building <ul style="list-style-type: none">• What is the expected and required capacity building elements for the Article 6.2 of PA?	TBD, UN-REDD
KFS's REDD+ joint projects in Mekong regions and blueprint for scaling-up and ITMOs	Dr. Eunsik PARK, Director General of KFS

協調的アプローチとしてのREDD+の可能性と能力強化の必要性

森林総研からの話題提供

「日本の二国間クレジット制度とREDD+」

平田泰雅 研究ディレクター

発表のポイント

- JCMの仕組みの紹介
- REDD+はJCMの潜在的なセクターの一つ
- 日本は、JCM-REDD+プロジェクトを通じて、パートナー国の森林減少及び森林劣化の削減に貢献
- クレジットは、プロジェクトによって達成された温室効果ガスの排出削減または除去の測定、報告、検証（MRV）を通じて生成
- クレジットは、貢献度に応じて分配



気候変動緩和のための熱帯林火災予防：モニタリングと現場での実施

- イベント名（英語）
Tropical Forest Fire Prevention for Mitigating Climate Change: Monitoring and Field Implementation
- 主催 ITTO、ボゴール農科大学、森林総合研究所
- イベント開催日 2022年11月16日（水） 10:00～11:30（エジプト時間）
- イベントの概要
 - ✓ 効果的な能力開発プログラムの設計と実施を促進するために、インドネシアにおける主要な森林・土地火災政策と戦略を紹介
 - ✓ 気候変動緩和のための森林火災に関する研究の成果や、インドネシアにおける管理された火入れ作業の推進を通じた火災予防活動の実施から得られた教訓について議論



気候変動緩和のための熱帯林火災予防：モニタリングと現場での実施

Keynote presentation 1 Forest and land fire policies in Indonesia	Ms Laksmi Dhewanthi (TBC) DG of Climate Change, Ministry of Environment and Forestry (MoEF), Indonesia
Keynote presentation 2 Greenhouse Gas Emission from Forest and Land Fires in Indonesia	Professor Bambang Hero Saharjo Faculty of Forestry, Bogor Agricultural University (IPB), Bogor, Indonesia
Forest fires and REDD+	Dr Yasumasa Hirata Principal Research Director, REDD+ R&D Center, FFPRI, Japan
Lessons learned from ITTO-MoEF fire project: Controlled burning practices in Central Kalimantan and Sumatra, Indonesia	Dr Hwan-ok Ma Officer-in-Charge, Forest Management Division, ITTO

気候変動緩和のための熱帯林火災予防：モニタリングと現場での実施

森林総研からの話題提供

「森林火災とREDD+」

平田泰雅 研究ディレクター

発表のポイント

- 森林火災は、先進国、途上国を問わず深刻な問題
- 森林火災は、地域的にも地球規模でも緊急の課題
- 森林火災への対応は、適応策であると同時に緩和策でもある
- 森林火災による炭素蓄積量の変化の算定は、IPCCのガイドラインに従わなければならない
- REDD+活動の実施にあたっては、森林火災に関連する要因を考慮する必要



所感

- 回を重ねるごとに規模が拡大
- それに合わせてイベントの数も大幅に増加
- その結果、ひとつひとつのイベントの参加者が減少
- 関連イベントを見つけるのにも苦労
- 森林そのものを対象としたイベントは減少しているとの印象
- 参加者の所属団体も大きく変化
- 経済界からの参加者が大きく増加
- 2年続けてアラブの国（エジプト・アラブ共和国、アラブ首長国連邦）であることが会議の方向性に影響

